第３学年　研究構想図

【主題】　社会とつながり未来を創る子供の育成
～社会的事象の見方・考え方を働かせ、主体的に問いを追究する学習を通して～

【３年部会の目指す子供像】
自分たちの暮らす地域への理解をもとに、
地域社会のこれからを考えようとする子供の育成

【研究の内容（手立て）】

主体的に追究する問いの工夫	見方・考え方を働かせる学習活動の工夫	子供の学びを確かにする評価の工夫
ア　社会的事象の見方・考え方（追究の視点や方法）が働く「問い」の設定 イ　子供が自ら「問い」をもち、意識して追究できようにする指導の工夫 ウ　問題解決的な学習の展開に即した「問い」の連続性や構造化	ア　比較・分類・関連付け・総合して考えることができる学習活動の工夫 イ　対話的に学び合う学習活動の工夫 イ　多角的に考える学習活動の工夫 ウ　社会に見られる課題の解決を構想し、社会の一員としての自分の関わり方を選択・判断する学習活動	ア　３観点での評価規準の設定と評価場面の焦点化 ア　評価方法の開発と指導と評価の一体化 イ　記録に残す評価につながる表現活動の工夫 ウ　子供が自らの学びを評価し学びに生かしていくための学習の見通しと振り返りの工夫

【３年部会の研究の重点】

○子供の問題意識を高める問いの設定 ○疑問から問いを導く発問や教材提示	○対話的に学習を進めるための学習活動 ○見通しをもって学習を進める単元展開	○子供の理解や思考を表出させる表現方法 ○見通しと振り返りを関連させた評価

【消防単元での研究の手立て】

○緊急対応に重点を置いた学習 ○緊急時に対処する体制に重点をおいた学習問題 ○消防単元の学習を生かした警察単元における問いの設定	○ゲストティーチャーや施設見学などの活用 ○対話を通して関連図を作成する活動 ○「汐入地区火災０」という驚きから生まれる地域の一員として自分の関りを選択判断する活動	○消防、警察の両方の小単元で「いかす」を設定し、安全単元で目指す児童の姿を具現化 ○学んできたことの関連図へのまとめと学習の振り返り場面での活用

【警察単元での研究の手立て】

○既習事項（消防単元）を生かした学習問題の設定 →「つかむ」で緊急時の対応 →予防に重点を置いた学習問題の設定 →軽重をつけた内容の取り扱い	○安全を守る取組を多角的に捉えるために、インタビュー活動を通して、身近な地域の人たちと関わる活動の設定。 →「予防」に重点を置いた関連図を作成する活動 →「対処」については「つかむ」と「まとめる」で明示	○毎時間の「振り返り」の時間の確保 →子供…学びの充実 教師…指導・授業改善